



おくちのはっぱ、はユーカリ

学 園 長 小 島 澄 人

クラス便りの一コマに、「おくちのはっぱ」と題して、

「裏山にはコアラの好きなユーカリの木があります。葉が落ちると色も形もまるでお口のように、地面にたくさんのお口の葉っぱがにやっと笑っているように落ちていきます。その葉っぱを口に、木の実を目や鼻に見立てて紙の上に貼り、お顔を作ることになりました。使えそうな材料を自分で集めて、顔になるように紙の上に並べてみます。にっこり笑った優しいお顔、少しとぼけたようなおもしろいお顔、いろんなお顔ができました。余った葉っぱも持って帰りたい！ というほど気に入ったようです。」

早速、裏山に行きました。落ちています、本当にいっぱい落ちていました。今まで25年も何も思わなかったのに、その先生はいろんなお顔の表情に見立てて紙の上に貼り付けて遊んでくれました。25年程前に、裏山でよく遊ぶ子どもたちを見て、もっと遊んでもらおうと、蚊の対策としてユーカリがいい、と聞きましたので、当時、静岡市の街路樹「ユーカリ」を見に車を走らせました。行ってみますと、街路樹ばかりでなく、公園にはユーカリの木で作った遊具やベンチ、デッキばかりでした。木は材木として、長年腐らず、耐久性が高いとか、すぐに幼稚園でもデッキやテラス、そして蚊対策としての「ユーカリ」を裏山のど真ん中に植えることにしました。その木がもう25年です。大きな大木になっています。蚊はまだいますが、そこを中心に広場があり、その周りにはブルーベリーや畑や、柿、くり、みかん、びわ、かりん、等たくさんの果樹が取り囲んでいます。ちょっとしたいい空間です。池の周りのデッキも長年そのままになっています。

若い時代には京都や大阪、長野、といろんな所に出掛けては遊具作りに精を出しました。40年前には日光の山奥から間伐材を貰ってきて、裏山にアスレチックを作りました。よくそんなことが出来たと、今の自分を見て、びっくりです。

さあ、これから玉川中央幼稚園の誕生会、その「ユーカリ」の葉を見せてにっこりした笑顔で臨もう、もうそこに近づいてきた夏休み、自然の物を何かに見立てて、紙の上に何かを作ってみよう、そう話してみます。

